

“獣のしるし”に、どれほど近づいているか

アミール・ツアルファティ

- 獣しるしの現在 -

<https://youtu.be/JLeVdF6bJOw>

シャローム、皆さん、アミール・ツアルファティです。ガリラヤの自宅からライブ配信をしています。今日は、マイク・ゴレイ牧師とニック・ディジョバンニ兄、英国のジェフ・クオッツォ牧師と一緒にいます。ニックはカナダから、マイクはアメリカから、そして私はイスラエルから、一緒に議論してゆきます。テーマは、「獣のしるしまで、どれほど近づいているか？」多くの人の想像力をかき立てています。また、近ごろ、多くの信者を悩ませている、この新技術、あるものは直接的な方法で、一部は間接的な方法で持ち込まれています。でもその前に、みんなで一緒に獣のしるしについて、神の御言葉が何と言っているかを考えてみましょう。では、聖句をスクリーンに映し出しますので、一緒に読んで、それから議論していきましょう。

まず初めに、この獣のしるしについて最初に耳にするのは、もちろん黙示録13章です。スクリーンに出します。2節…、すみません。4節です。では、一緒に読んでみましょう。

彼はまた聖徒たちに戦いをいどんで打ち勝つことが許され…。これは、反キリストのこと。

彼はまた聖徒たちに戦いを挑んで打ち勝つことが許され、また、あらゆる部族、民族、国語、国民を支配する権威を与えられた。地に住む者で、ほふられた小羊のいのちの書に、世の初めからその名の書きしるされていない者はみな、彼を拝むようになる。耳のある者は聞きなさい。とりこになるべき者は、とりこにされて行く。剣で殺す者は、自分も剣で殺されなければならない。ここに聖徒の忍耐と信仰がある。

(黙示録13章7節から10節)

次に、黙示録16章に進みます。ヨハネの黙示録16章2節から、お読みします。

そこで、第一の御使いが出て行き、鉢を地に向けてぶちまけた。すると、獣の刻印を受けている人々と、獣の像を拝む人々に、ひどい悪性のはれものができた。(黙示録16章2節)

ですから、すでに獣の印を受けた者たちの上に、大きな裁きと罰があることが分かります。そこから次は、黙示録…。黙示録の(13章)17節と18節を読み忘れていました。

また、その刻印、すなわち、あの獣の名、またはその名の数字を持っている者以外は、だれも、買うことも、売ることもしないようにした。(黙示録13章17節)

そして、次は19章に移りましょう。19章では、この2つの部分を読んだ後にはっきりと次のことが分かります。19章20節です。

すると、獣は捕らえられた。また、獣の前でしるしを行い、それによって獣の刻印を受けた人々と獣の像を拝む人々とを惑わしたあのにせ預言者も、彼といっしょに捕らえられた。そして、このふたりは、硫黄の燃えている火の池に、生きたままで投げ込まれた。(黙示録19章20節)

そして、もちろん最後の1節をお読みします。黙示録20章4節です。

また私は、多くの座を見た。彼らはその上にすわった。そしてさばきを行う権威が彼らに与えられた。また私は、イエスのあかしと神のことばとのゆえに首をはねられた人たちのたましいと、獣やその像を拝まず、その額や手に獣の刻印をされなかった人たちを見た。彼らは生き返って、キリストとともに、千年の間王となった。(黙示録20章4節)

ということで、はっきりと分かります。黙示録13章の中で初めて、2匹の獣が登場します。1人は海から出て、もう1人はすでに地上にいますが、今、地上にいる人たちに、この海から上がってきた者を拝ませます。これはもちろん、反キリストがどこからともなく現れるという意味です。彼は以前はいませんでしたから。そしてにせ預言者は宗教的指導者で、すでにしばらく、ここに存在した人物です。彼は、海から出て来ません。彼は地上にいます。それでいて、彼は、ある種の信条を宣言しています。そして獣のしるしは、財政的、政治的だけでなく、それ以上に霊的なしるしです。そして皆さん、ここが、つまり7年間の大患難の前半が終わりにさしかかった頃、私たちが見ているのは、これから起こる出来事で、それは、もちろん世界人口の総支配です。それは、額か手に印を受ける以外、選択の余地がありません。はっきりさせておきましょう。サタンは常に神の真似をし、偽造しようとします。彼はいつも、いと高き方のようにになりたいのです。イザヤ書14章にあるように。興味深いことに、主がイスラエルの民にこう言われた時、

『心を尽くし、思いを尽くし、力を尽くし、知性を尽くして、あなたの神である主を愛せよ』

主はまた、言われました。

私のこのことばを…しるしとして手に結びつけ、記章として額の上に置きなさい。(申命記11章18節)

そのため、見ての通りユダヤ人は腕に革のストラップ(革のひも)を巻き、それから、まさにここ、額に箱を巻きつけています。そして、反キリストが人々に要求しているのは?同じことです。これもまた、人をだまして、彼らが実際にイスラエルの神を礼拝していると思わせる方法です。ということで、私たちは非常に面白いことが起こるのを見えています。私たちが見ているものは、政治的、経済的、そして霊的な意義を持っています。

では、今から私たちのミニストリーのほかのメンバーを招いて、いっしょに議論したいと思います。カナダからはニックです。ニック、すぐに画面に出しますから、ちょっと待ってください。はい、ニック・ディジョバンニ。私と一緒に画面に出ていますね。英国のジェフ・クオッツォを加えます。彼は英国とヨーロッパの代表です。ジェフさん、すぐに画面に映りますよ。そしてもちろん、マイク・ゴレイ。マイク・ゴレイ牧師は、ミニストリーの運営責任者、ミネソタ州ジョーダン市からです。皆さん、基本的に世界の四隅から生中継です。皆さんは、全員、大変多くの知識を持っていますから、いろんな国から、今、見ている、何千人もの人たちに、獣のしるしについて教えてください。ということで、まずは、今日私がこれをしたと思うようになったきっかけについて。それはもちろん、誰もが話していること。コロナウィルスのためにビル・ゲイツの財団が…。彼は、マイクロソフト社をまず退任し、それから慈善家になって、パンデミックや予防接種に関してより深く入り込み、話をしています。それ以上に、IDに関して、発展途上国が先進国の一部になれるように支援する新技術への関心をより高めています。そこでジェフ、「ID 2020」とは何かを教えてください。これは“獣の印”に最も近いものではないかと、現在、誰もが疑っています。悟りを与えてください。ジェフ。

(ジェフ):それは、まっとうな疑問だと思います。なぜなら、私たち、何年も聖書を学んできた者は、これらのことが起こる、と言われてきましたし、繰り返しますが、こういった多くの技術や何かは、私たちがこの20~30年教えながらも、ずっと、実際には、ほとんど不可能でした。だから、たくさんの疑問があったのです。それが突然、技術が飛躍的に向上して、^{またた}瞬間にこれらのことが起こっています。だから、皆が心配しているのも分かります。しかし、ID 2020について言えば、彼らが宣言している究極の目標は、地球上の人口の内、およそ11億人が実際にはID(身分証明証)をいっさい持っておらず、IDは政治的、経済的、社会的な機会のために、本当に必要不可欠で…、

(アミール):アメリカのいくつかの州では、投票するのにIDは必要ありませんが…気にしないでください。

(ジェフ)：彼らは、それにも取り組んできますよね？とにかくポイントは、難民だろうが、発展途上国であろうが、多くの人々がIDを持っていないために、ある種の生活向上手段を得られない、それが前提となって、だから、国境を越えて認識ができる何か国際的なデジタルIDが必要だ、と提案されているのです。2015年、国連加盟国は、2030年を持続可能な開発目標としました。これらの開発目標に含まれているのが、2030年までに、出生登録を含む、すべての人の法的身分証明書を提供する、という考えです。だから全員に、何らかのデジタルIDを持たせるという、ある種のアジェンダ（行動計画）があるのです。

(アミール)：つまり、国連の壮大な計画が、基本的には今、民間の団体によって引き継がれている、ということですね？正式な身分証明書を持っていない15億人に、IDを作成する方法を提供する。彼らは、それをどのように計画しているのでしょうか？技術的に？ただちに警戒心が反応するのは、なぜなのでしょう？

(ジェフ)：まさにその通り。いくつかのことがあります。1)実際には、2つの要素があります。1つは、この何かを持つという考え方には、皆さんは、お気づきかもしれませんが、ほかの人は間違いなく気づいていません。このマイクロチップ。これが埋め込まれる可能性があります。ほかにも、いま話題の技術があります。ライス大学で取り組んでいる、量子ドットタトゥーです。それが何かの印となって、実際、誰がワクチンや予防接種を受けているか否か、また、十分な量を受けたかどうかなどを、スキャンして確認することができます。これら発展途上国で、人々がしかるべき方法で予防接種を受けているかどうかを追跡して、把握するものに取り組んでいるのです。

(アミール)：つまり、ジェフ、基本的にあなたが言っているのは、現在、世界が直面しているパンデミックで、世の中の人たちが多少なりとも世界的なIDがほしいと思うように環境を整えている。ある意味、予防接種によって、次のパンデミックと戦うという知識を、より広範に深く広めている、ということですね？

(ジェフ)：私たちは、今、それを見ていると思います。英国でさえ、今日の見出しは、今は、たぶんアプリを使いますよね？それがすでに、地球上の他の国で使用されていることを知っています。あなたがどこに行ったか、あなたの居場所や動きを追跡、報告するというこの考え。

(アミール)：ええ。そのアプリがスマホに出て来ます。

(ジェフ)：ええ。

(アミール)：そしてID 2020は、スマートフォンではなく、体ですよ。

(ジェフ)：その通り。そしてポイントは、健康と安全を目的としているように見えることです。安心感のために、自分の自由を犠牲にしてもいいと考えます。私たちの面倒を見てくれるのなら、安全のためなら何でもします、と。

(アミール)：あなたがいま言ったことは、第1テサロニケ5章に新しい意味をもたらしますね。

人々が「平和だ。安全だ。」と言っているそのようなときに、突如として滅びが彼らに襲いかかります。

(第1テサロニケ5章3節)

それを考えると、獣の印がもたらすのは、これらの人々の上に（起こる）突然の破壊であって、確かに平和と安全ではありません。さて、ニック・ディジョバンニ、我々ビホールドイスラエル・カナダ代表です。ニック、元気ですか？

(ニック)：元気です。ありがとう。皆さん、こんにちは。シャローム！

(アミール)：言っておきますが、私たちは、みんな黒の服を着ています。でもニックのカメラが、彼の服を紫色にしたのです。ニック、教えてください。なぜ、これが今日の私たちにとって、そんなに大切なのですか？我々は、これについて研究し、この画面上の全員が同意しています。これは大患難に関わるものであること。そして、それは教会のためではありません。それを今、私たちが見ておくことが重要であると思う理由を教えてください。

(ニック)：私たちが見ているのは、聖書が語る、大患難の最中、3年半くらいの頃に起こる出来事の前駆体（前段階のもの）です。ですから、その印になる可能性を秘めたものを、今、この時点で我々が見ているとすれば、実際どれくらい近いのだろうか？たとえば、教会が今日、携拳されるとして、これらの出来事は、今から約3年半後まで起こらないのです。だから、見た目よりもっと近いのです。

(アミール)：そして、どちらにせよ、その技術が全世界の人に実装されるまでに、最低でも2年はかかると思います。

(ニック)：もっと早くできるかもしれません。彼らは、この世界的なパンデミックを利用できますから。誰かがワクチンを受けたかどうかを追跡する必要がある、と言えばよい。予防接種が悪いとは言っていないが、彼らはその機会を利用して、移植する可能性があります。また、指紋に関する研究結果が示しているのは、かつては幼い子どもは指紋が柔らかすぎて、跡が残らないと信じられていました。しかし、技術の向上で、それも成功しているということです。だから、それもまた別の方法として使用されるでしょう。

(アミール)：なるほど。つまり、基本的に、それが導入されるまで、それほど遠くはないということですね。そのため、今日の我々が、これについて話題にするだけでなく、警告するのはよいことです。でも、これに反対して警告するものではありません。これは起こりますから。しかし、不幸にして取り残された人々のために、それを暴露するのです。彼らは、自分たちが直面することを理解しなければなりませんから。この画面上にいる、我々全員が同意していること、皆さん、私たち全員が同意しているのは、獣の印は、反キリストが統治する時代の、世界人口のために備えられるものです。なぜなら、それは黙示録の中の大患難を語る部分に入っていますから。それは(黙示録) 第13章から始まります。その時、教会は、もはや地上にはいません。教会は、天国でイエスと一緒にいます。黙示録4章1節で、ヨハネが天に上げられた時、教会が上げられています。そこで私たちは、ここから出て行くのです。さて、なぜ我々がそれを理解し、それを教え、勉強することが必要なのか？

A)それを黙示録に入れることを、神が決めたから。つまり、必要だということです。

B)黙示録を教え、学ぶ者を祝福すると、神が言われたからです。そして最も重要なことは、神は、私たちが黙示録に何かを追加したり、そこから取り除いたりすることを、いっさい許されていないためです。さもなくば、私たちは不信者と見なされます。そして、不信者の上に降りかかると黙示録に書かれていることが、自分の身に降りかかります。ですから、これを理解しておくことが大切です。我々は黙示録を教え、研究する義務がある。私たちに直接関係のないことを伝えている箇所もです。それらは直接、世界の人々について語っています。そして、我々はあちらから見るのです。マイク牧師、あなたの考えを聞かせてください。今日の我々が、我々信者には直接関係のないことを勉強する主な理由は何ですか？

(マイク)：なぜなら、信者として、いま我々は、携拳が近いうちに起こると信じています。我々は、神がすでに聖句で言われている兆候を読み取ることができます。そして、聖書の中のこれらの兆候が非常に明確であり、また、この世界の舞台であまりにも急速に繰り広げられているため、いま、私たちは人々をイエス・キリストの救いに導くことができるのです。そして私たちが目にしている、私たちの周辺で起こっているこれらの兆候は、私が話した未信者の人たちに聖書預言について話した時の反応は、「なんてこった!」とか、「OMG!」みたいな感じで、彼らはとても、これに魅了されました。今日、我々が注目したい聖句のひとつは、黙示録13章の一節です。私は、これを多くの人に話します。これはポップカルチャーの中で、とても流行っていますから。

(アミール)：つまり、数字そのものの話ですか？

(マイク)：一節をお読みします。新キング・ジェームズ訳です。

ここに知恵がある。思慮あるものはその獣の数字を数えなさい。その数字は人間をさしているからである。その数字は六百六十六である。(黙示録13章18節)

(アミール)：ウォ！つまり、マイク、多くの人と違って、あなたは、この666が何であるか、思い当たる節があるそうですね？

(マイク)：ええ。これは皆さん、おそらくあまり聞かないでしょう。それから、もし私の頭に銃を突きつけられたら、私はいのちがけでこれを主張するかどうかは分かりません。しかし私は、そこら辺からこれを引っ張って来たわけではありません。これは、私がイスラエルで過ごした8年間、画面左上の義弟のアミールと一緒に過ごした経験から来たものです。また、その数字は、文脈の中に定義されています。額面どおりに受け取れば簡単です。これは人間を表す数字です。結局のところ…、簡単な事例を紹介させてください。もともと人間は、一緒になってバベルの塔を建てました。“バベル”は、ヘブライ語の都市の名前“バビロン”から来ています。これはヘブライ語で、“混乱”や“溶け合う”という言葉で、世界が溶け合ったのです。最強の男たちが一緒になって、彼らが決めた人間を礼拝するための、このすばらしい塔を建てました。この現象を、歴史を通して見てきました。また、「6」は人間を表すことも分かっています。6日目に、人間が登場しました。一方、神は、神の名は聖、そして7日目は聖なる日です。それが神の数字で、「7」です。ヘブル的思想で、「7」は完全を表します。次に、ここで多くの人が離れてしまうのですが、なぜ3桁なのか？黙示録の中に偽物の神がいます。竜と獣とにせ預言者。しかし人間は、終わりの時代、できる限りのことをします。バビロンふうの、バベルの塔のような、一緒に来るタイプの環境。ジェフ牧師が、すでに「ID 2020」の話をしましたが、まさにその通りです。我々が信者として今の状況を見ると、人は集団で、どんどん深入りをしようとしています。最も優秀な人間を立てようとする、世界統一、グローバリズムの思想。さて、次に私が気づいたこと…。

(アミール)：マイク、ちょっといいですか？ちょっとだけ、待っていてください。

(コメント欄に頻繁に記入している、ある人に対して…) 新キングジェームス訳が墮落していると信じるカルトに、もし、あなたが属しているなら、唯一、キングジェームス訳だけが聖書であると、あなたが信じていて、そして、このコメント欄を荒らし続けるなら、言うておきますが、聖書は英語で書かれたものではありません。旧約聖書はヘブライ語で書かれ、新約聖書はギリシャ語で書かれたのです。だから無意味なことはやめてください。キングジェームス訳は聖なるもので、他のすべてのものは墮落している、なんて考えを、まき散らさないでください。翻訳には良い訳も、そうでない訳もあります。しかし、新キングジェームス訳で十分です。だから、くだらないことはやめて、このチャットから離れてください。他の人がこれを聞く邪魔になります。マイク、続けてください。

(マイク)：その通り。ですから3桁の数字。私たちは、神が三位一体であることを知っています。彼は本物です。サタンは実在するが、彼は完璧じゃないことも私たちは知っています。彼は偽物であり、詐欺師であることも、私たちは知っています。最強の男が、自らの力で生み出せるのは、「777」ではありません。たとえ他の人と一緒に集まっても、やはり「777」ではない。最強の男は、「666」。ある意味、彼は自分の神になる。自分を崇拜して、お互いを崇拜します。最終的には公差があります。アミール、私が気づいたことのひとつ、数年前にイスラエルに移住した時に、本当に奇妙に感じたことがあります。私が誰かの家に行き、リビングルームに座ると、言われました。「マイク、元気か？」私は言いました。「元気だよ」。数秒後に彼らは、私の手を握って言います。「マイク、調子はどうだ？」私は、こんなふうに。「うん、もうその質問には答えだよ。元気だよ」そして3回目は、誠意を持って、私の顔を見ながら言うのです。「なあマイク、元気なのか？」すると私は、「実は頭が痛くて、昨日の夜はひどかったよ」と本音が出ます。ユダヤ教には「3の力」というものがあります。挨拶の中でも、誰かに何かを言えば、3度目には、文化の中で、あなたが、とても真剣であることを、だれもが分かります。ただ「元気か？」というだけなら、皆、軽く答えますから。でしょ？さて、聖書の中にも、この例があります。ペテロは、イエスを否定しました。何回？

(アミール)：3回。

(マイク)：その文化で、3回目に言う時は、「こんな男、絶対に知らない！あっちへ行け！」という意味です。そして、誰もが言います。「わかった」。イエスは何度ペテロに聞きましたか？「あなたは、わたしを愛しますか？」赦しの意味で、そして赦しを伝える彼の将来的なミッションのために。私がこの話を持ち出したのは、その数字は人間の数字で、終わりの時には、これが何であれ、そのしるしは、「人、人、人」になるのです。

(アミール)：つまり基本的に、あなたが言っているのは、必ずしも「666」が手や額の上にあるとは限らない、ということですね。しかし、どんな“しるし”であろうと、それが表すものは、すべて、神に足りない。

(マイク)：すべて、神には足りない。宗教的なユダヤ人は、あなたがさっき言ったように、いわゆる、“テフィリン”、“フィラクテリー”と呼ばれる、聖句が書かれた箱を、額と腕に、厳格に決まった順序で巻きつけています。それは、彼らが、神の言葉に従って、神を礼拝していることを人々に示すためのものです。文字通りの“しるし”であろうとなかろうと。ないとは言っていませんが、ただ私が言っているものは、なんであれ、それは人間中心のものになるでしょう。このバビロンのな人間の栄光が具現化したものを崇拜する。しかし、それは続きません。

(アミール)：なるほど。

(マイク)：だから…

(アミール)：聖書に戻りましょう。聖句自体が、それは人間の数字だと告げていると言いましたね？

(マイク)：その通り。

(アミール)：そのために、その結論に至ったのですか？

(マイク)：そうです。それと、イスラエルでの生活を観察して、それから聖書の中に見られる、「3」が発するパワーからです。2つの例しか挙げていませんが、複数の箇所で見られます。ここにかいてあります。

「その数字は人間をさしている」(黙示録13章18節)

(アミール)：分かりました。つまり、基本的には、あなたが言っているのは、人である反キリストは、サタンの化身ともいえる。反キリストは人間であり、にせ預言者は人間です。サタン自身、自分が神のようになりたがるが、決してそうなることはない。つまり、サタンだけでなく、すべての人間は、神に足りないのです。ですから、あなたが言っているのは、その数字が示しているのは、その背後で神になりたい者、神に成り代わって、神の民を占領しようとする者の試みである。合っていますか？

(マイク)：その通り！そして諸君、そして、これを聞いている皆さんも認めなければなりません。サタンは邪悪かもしれないし、彼は傲慢ごうまんでしょう。しかし、彼はバカではない。この計画は成功するのです。つまり、彼は実際に人々をだまして、神のみに属する礼拝を受けるのです。そして、最強の男の傲慢の極み、彼が共同体となって、宗教的価値観や国粋主義的な価値観を与え、“カッコいい”バビロンのようなものが、彼らの諸国の混乱をひとつにまとめるのです。それは本当に、世界的レベルの偽造です。ある意味、天才的だと思います。何を探せばいいのかを知っていると、つまり、これらの兆候を知らないと、さっぱりワケが分からないでしょう。あなたの最初の質問ですが、アミール、こういったことを知っていなければなりません。

(アミール)：ジェフ牧師、質問させてください。聖書によると、主なる神は、その時、彼が聖徒に打ち勝つことを許されます。しかし聖書によれば、聖徒たちが獣の印を受けることはありません。そこで私の質問は、彼が占領しているながら、聖徒が獣の印を受けないとは、どうすれば可能になるのでしょうか？

(ジェフ)：質問の意味が、よく分かりませんが、つまり…

(アミール)：私が言いたいのは、こうです。基本的に、彼らが獣の印を受けることはありません。そして、神の御言葉によれば、反キリストが聖徒を支配する時期、基本的に、彼は、どこでも聖徒たちを見れば、彼らを滅ぼし、斬首します。そうですね？

(ジェフ)：ええ、あきらかに大患難の聖徒がいることは、私たち全員が知っています。そして、144,000人の使徒パウロのように、イスラエルから、ユダヤ人から信者がおこり、彼らが福音を説くと聞いたことがあります。それによって多くの人が信仰を持つようになります。しかし繰り返しになりますが、これは大患難時代です。人は救われますが、でも、それは…。正直なところ、私にとっては今、心の底から言いますが、今ここで、あなた(視聴者)が私たちの話を聞いているならば、もし、今、このメッセージを聞いているなら、今がその時です。今日がその日です。

(アミール)：それが、あの質問で私がたどり着きたかった所です。私が言いたいのは、皆さん、聞いてください。獣の印は、実際に取り残された人のものです。そもそも携挙されなかった人たちです。獣の印は、144,000人のパウロや、ビリー・グラハム、または、その時にエルサレムにいる二人の証人の成果として、信者になった人たちには適応

されません。それで私の言いたいことは、はっきりしています。大患難の最中に信者になると、非常に高い確率で殉教じゆんきやうします。あなたは殺されます。今日、あなたが信者になれば、ほとんどの確率であなたは生き、繁栄し、飛躍します。理解をはるかに超える平安が得られます。そして、他の周囲の人たちをキリストに導く、すばらしい光を放ちます。もし、今日、あなたが彼（イエス・キリスト）を押しつけ、そして、こんなふうにいるのなら、
「私は今日、自分の人生を好きなように生きて、大患難が来て、携拳が真実であることや、反キリストやそのすべてが真実なのを見たら、その時に考えよう」

言っておきますが、大患難時代、選択肢は2つしかありません。

1)サタンを拜むか、2)主を拜む。そして殺される。

もし、あなたがサタンを拜むなら、あなたは神に殺されます。もし、あなたが主を拜むなら、あなたは反キリストに殺されます。神が、彼らに支配する許可を与える、と神が言っているのですから。はっきりとさせておきましょう。主は、サタンが私たち教会を支配する、とは言っていません。イエスは何と言われましたか？ピリポ・カイザリヤで？“地獄の門は、私の教会には勝てない”。覚えていますか？私たちは教会です。そして私たち教会は、“私たちは今、殺される”という悪い知らせを受けていません。イエスは、御父に祈って言われました。

彼らをこの世から取り去ってくださるようというのではなく、悪い者から守ってくださるようお願いします。

(ヨハネ17章15節)

その一方で、イエスが私たちに語っているのは、取り残される人たちは、悪の手に渡される。もちろん、最後の最後に彼らは復活します。そして、彼らはイエスと共に統治します。もちろん、私たち全員で。しかし、約束の違いを見てください。私たちキリストの花嫁にある約束は取り去られ、こういったことを経験しません。聖書によれば、イエスがフィラデルフィアの教会に言っておられます。黙示録3章、携拳の前です。黙示録4章1節で、ヨハネが取り上げられる前に、彼はフィラデルフィアの教会に言っています。ここは、たぶん唯一、ほめられた教会です。正しいことを、正しく行った、と。その彼らに、主が言っているのです。

あなたが、わたしの…ことばを守ったから、わたしも、地上に住む者たちを試みるために、全世界に来ようとしている試練の時「には」（から）、あなたを守ろう。(黙示録3章10節)

“それ（試練）を通して”ではなく、“その外に（試練の外に）”です。最後に、もう1つのことで締めくくります。多くの人が知らないことです。この時、再び、教会とイスラエルの間に大きな区別があります。一方では、教会、聖徒たちは、その間に、究極の代償を払うことになるでしょう。しかしもう一方で、イスラエルは12章、13章の前の章で、荒野に逃げます。そして、1260日の間、主が彼らを支え、彼らを守り、彼らを養われます。もちろん、すべて獣の印を受けなかった人たちです。逃げ出した人たち。まだ、イエスを信じていません。しかし、彼らは逃げ出すのです。なぜなら、ユダヤ人は、神の神殿で自らを神と宣言する人間を拜むことは許されていませんから。ですから、私が言いたいのは、私たちは非常に興味深いものを見えています。今は、世で、教会はある意味で守られていて、イスラエルは多くの試練を経験しています。少し前には、大量虐殺まで起きています。そして大患難時代には、その時できる教会、大患難時代の聖徒たちは、大量虐殺を経験し、その間、イスラエルは守られます。そして、もちろん最後の最後になると、イエスが帰ってくるのを見るイスラエルと、復活する大患難時代の聖徒たちの両方と、全員が、イエスの肉体的な臨在を享受します。ただ、私にとっては、大切なのは、これを見ている皆さんが…、ところで、今回、同時に視聴している人の数は、過去最高です。今、見ている人全員にとって、信者が黙示録を教え、それらのことを話し、それらを研究することは、超重要です。なぜか？なぜなら、今、今日が救いの日ですから。だからこそ、神の恵みによって、私たちは未来に起こることを知らされているのです。

A)私たちが慰められるために。

B)私たちが、世界に悔い改めを告げることになるために。

皆さん、何か言いたいことはありますか？ニック、何か追加することはありますか？

(ニック)：はい。印を受けることについて、人々は、それは何か、「ああ、しらなかった」というようなものだと考えますが、それは自分の決断、自分の意思によって、意識的に判断します。間違いなく、分かります。彼らはこの印を受け取り、それはブランドになるのです。それによって、別の“小さな神”、本質的には、反キリストに忠誠を誓う

のです。ちょうど、144,000人のユダヤ人には、彼らの額に神の印がついているように、偽物であるサタンは、その信者のために印を欲しがります。そして、それは…、それはダニエルが3章で経験したことに匹敵すると思っています。ネブカドネザル王が、高さ60キュビト、幅6キュビトの巨大偶像を用意した時、高さ2700mでした。それを、皆が拝まなければならない、しかし、彼は反抗することを選びました。彼は、その意味を知っていたから。他の神を拝むことになる。これは、ただ商売のためのチップを入れるものではありません。これは靈的な決断です。だれもが分かりません。「ああ、知らなかった、間違えた」ということは、ありません。自分が何をしているのか分かりません。偉大な偽造者であるサタンは、死を装い、復活を装い、すべてをまねます。そして、彼が神となり、誰もが彼を拝まなければならないくなります。テサロニケ人への手紙が語る靈的惑わしのため、その印を受けないでいることは、非常に難しくなります。

(アミール)：面白いと思いませんか？ダニエル7章21節は、黙示録と同じことを語って、“聖徒たちに戦いをいどんで、彼らに打ち勝った”とあります。黙示録を引用したように聞こえますが、ダニエル7章の引用です。ダニエル書は間違いなく、旧約聖書の中で、最も多く反キリストについて語っている書です。彼は3章に現れて、ずっと7章、8章にも登場し、間違いなく9章、11章、12章、全体を通して見られます。いつか、ダニエルのレンズを通して終わりの時のことを教えるかもしれません。ともかく、皆さんに理解してほしいのは、旧約聖書、新約聖書の両方の聖徒に、彼（サタン）は打ち勝つことができます。しかし、それは教会が約束されていることとは矛盾します。マタイ16章で、イエスがその約束のことを語っておられます。そして、それが教会と大患難の聖徒との間に、大きな違いがある、もうひとつの理由です。教会、私たちは、その前にここから連れ出され、大患難の聖徒たちは、それを通ります。だからこそ、神は私たちに言われたのです。これらの言葉をもって、互いに慰め合い、互いに励まし合い、高め合いなさい、と。その言葉、携挙の約束が非常に励みになり、慰めになるのは、私たちが大患難を経験しないからです。こんなメッセージの、どこに励まされますか？「あなたは斬首される。でも元気を出しなさい。わたしは世に打ち勝ったのだ！」

(ジェフ)：アミール、まさに、あなたの言う通りです。私たちはキリストの花嫁として、我々は御怒りには定められていない。私たちは、主の花嫁ですから。私たちにとっては、それが美です。皆さんを励ましたいのは、すでに言いましたが、あなたが主を知らないのなら、あきらかに今日が救いの日です。しかし、主を知っている人にとって、彼らはニュースを見ていて、「ID 2020」と言った、こういうものが登場することを知っている。私たちが知り、これが来ると聞いてきた、いずれ起こる事に備えて、ピースが整いつつあります。でも、いまここで多くの恐れがあるような気がします。現在、恐れでいっぱいです。先が分かりませんから。そして、山積みの課題に多くの人が直面している。だから私は、もう一度、すべての人を励ましたいと思います。イエスに目を向けましょう。主が創始者であり、完成させる方です。主に目を向けていれば、主は、私たちの心を、完全な平安で保ってくださいます。それには、私たちが本当に彼を信頼する必要があります。私は、ペテロの話を思い出します。そこで彼は、不可能なことをしていた。できないと思っていたこと、状況を超えて水の上を歩く。そして、彼がイエスから目を離すや否や、イギリスで言うところの“洋ナシ型”、そこで、物事、彼は沈み始めたのです。とにかく、今、そんなふうに感じている兄弟姉妹、ただ、イエスに目を向けて、上を見上げ続けてください。我々は、キリストとともによみがえったのです。彼は、今、神の右に座を占めておられます。彼はまだ座っています。彼は心配して右往左往していません。彼はご存じます。これが起こることを、彼は私たちに教えてくれました。私たちは、それを信じて休むことができます。

(アミール)：では、これを言って終わりにしましょう。あらゆる意味で、携挙はすぐそこまで来ています。大患難は取り残された人のためのものであって、私たちのためのものではありません。獣の印は、サタンに忠誠を誓う恐ろしい印で、それによって商業もできるようになり、政治に一役買うこともできます。そして、同時にサタン自身を拝む者となります。それは、私たちのものではありません。私たちは理解しなければなりません。私たちが、まだここにいる間に、何があっても、何が提示されようとも、獣の印は、私たちのためではありません。今、私たちは、すべてのものが形づくられ、形成されていくのを見えています。人の思考は、それらのすべてに慣れつつあり、それが実現する頃には誰も驚きません。しかし、私たちにとっては、他に考えることがあります。

こういうわけで、もしあなたがたが、キリストとともによみがえらされたのなら、上にあるものを求めなさい。そこにはキリストが、神の右に座を占めておられます。(コロサイ3章1節)

「携拳」の概念に、問題を持っている人がたくさんいるのを知っています。第1テサロニケ4章を読んで、教えてください。第1コリント15章を読んで、教えてください。イエスご自身がマルタに言われたことでさえ、それを理解すれば、

わたしは、よみがえりです。いのちです。(ヨハネ11章25節)

見てください。死んだ人はよみがえり、まだ死んでいない人は、基本的には、2度と死ぬことはない。これが、携拳の究極の印です。まさにパウロが話しました。“キリストにある死者が、まず初めによみがえり、次に、生き残っている私たちが…”“私たちは死にません。私たちは、上げられるのです。それを覚えておかなければなりません。イエスは、その復活を約束したのです。彼は、その携拳を約束しました。これは、彼がまだここにいる時に約束されたことです。そして、それはパウロに約束され、パウロがそれを、不安になっていたテサロニケのキリスト教徒の会衆に伝えました。マイク、かれこれ50分のこのアップデートを祈りで締めくくってくれますか？そして、世界中の人々に、主を救い主として迎えるように招いてください。

(マイク)：では、チャレンジしてから、祈ってしめしましょう。私のチャレンジは、頭と腕にフィラクターをつけたユダヤ人の友人から学ぶ多くのこと、そこは、まさに獣の印がつけられる場所です。私たちは思いの中で神を信頼し、礼拝します。これがコントロールセンター。私たちは、自分の思考を主にささげます。正しい判断ができるように。いったん、その決定を下すと、私たちは腕で行動します。ライフスタイルです。ですから、私は今から祈ります。人、人、人である、666の代わりに、人であれ何であれ、自分が支配できるものを拝むのではなく、私たちは、イエスに支配をゆだねています。イエスが、私たちの思考をコントロールされます。私たちが行うすべてのことを、イエスがコントロールされます。この終わりの時に、人々が、私たちのうちにイエスを見るように。

(アミール)：祈る前に、ひとつ言わせてください。みんな、マイクが(祈り)終わったら、このメッセージを、ひとりでも多くの人にシェアしてください。では、どうぞ。

(マイク)：祈りましょう。今日、ここで、このビデオを見ている君、もしくは、この動画をYouTubeかFacebookで見ている君、あなたは、他の動画を見ることもできたのに、これを見ている。今、降参してください。そして清く、心の中でイエスに言うのです。

“私の罪を、見当違いな生き方を悔い改めます。どうか、お赦してください。”

ここまで来たなら、友よ、最後まで行こう。

“主イエスよ。告白します。私の人生の主になってください。私自身ではなく、あなたが私の思考も、行動もコントロールしてください。この地上で、私が、あなたの目的通りの生き方ができるように。私の人生のすべてを、あなたにささげます。私の中にお入りください。そして、あなたの救いとあなたとの関係を、私に体験させてください。イエスの御名によってお祈りします。

アーメン”

(アミール)：アーメン。ありがとうございます。ログインして参加していただき、感謝します。重要なメッセージです。なんとしてでも、できるだけ多くの人にシェアしてください。

ありがとうございます。We love all!

イスラエルのガリラヤからシャローム。

カナダから、アメリカから、英国からもシャローム。

Behold Israel

“獣のしるし”に、どれほど近づいているか 2020年3月31日

私たちはまた、これらの日が恐怖にならないようにも祈ります。究極の平安、平和の君、サー・シャロームの平安に、あなたが頼りますように。数時間後、フェイスブックやユーチューブその他で、サー・シャロームに関する、とても重要なことを投稿します。ソーシャルメディアでフォローしてください。

ありがとうございます。

God bless you !

ガリラヤから、シャローム。

さようなら。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.04.19 (Sun)